

やわらぎ歯科会通信

第 22 号

平成 15 年
2 月 20 日号

編集発行人
やわらぎ会
歯科診療所
藤田 和也
編集者
山下 剛史

かめるっち

三割負担になっても大丈夫！

負担を増やさない方法？

寒さも少しずつゆるんできました。春ももうすぐです。最近の話題としては、今年の4月より社会保険の本人の3割負担が実施される事があります。

健康保険は、病気やけがの早期発見・早期治療を目的に設立されていますので、社保本人の3割負担は制度の後退になることは確実と言えます。しかしながら、国民皆保険を維持することが、より大切であると考えてのことだと思えます。病気やけがは、ひどくなる前に治療すれば、痛みも少なく、早く治りますし、治療費も少なくて済みます。歯の治療で言えば、小さな虫歯のうちは、詰め物も少なくて済むので、痛みもほとんどなく、費用も少なくて済みますが、神経まで虫歯に冒されると、

痛みに悩まされ、たいていの場合冠をかぶせることになり、負担も増えます。

虫歯や歯周病は、自覚症状が出て来た時にはすでにかなり進行している事が多いようです。また虫歯や歯周病の原因は、歯や歯と歯グキの境目に付着した歯垢(細菌のかたまり・プラーク)です。この歯垢はいくら歯みがきをしてきれいに落としても二十四時間たつと再度増殖してしまいます。そのため、生活習慣病とも言われています。医療の先進国であるスウェーデンなどでは保険給付は予防や初期の治療に重点がおかれているようです。

今後の日本も同様な道をたどると思われれます。病気になっても軽度のうちに治療しましょう。また一度治療した歯はもう悪くしないように日常の歯のお手入れをよろしくお願います。年に二〜三回の定期検診をお奨めします。

最近やわらぎ会のホームページを読まれた方からメールがありました。神戸大学の発達科学部人間行動表現学科の学生さんで卒業論文にスポーツと歯の咬み合わせについて研究したのでアドバイスをしてほしいとのことでした。歯学部でも歯の咬み合わせと全身について研究されていますが、他の学部でも咬み合わせと全身についての研究が進められていることを知りまして、時代の進歩を感じました。スポーツに限らず日常生活においてきれいな歯ならばや良い咬み合わせは大事です。私共もさらに咬み合わせの研究を進め、患者様のお役に立てる診療所にならねばと思いました。



耳よりコーナー

☆歯のお手入れに使うもの

「歯のお手入れ」と私達は言いますが、普通は歯みがきっていうと、歯ブラシでゴシゴシと磨くというイメージがしませんか。

歯はタイルと違って、立体的でまるみを帯びています。歯並びによつては、重なっていたり、隙間があいていたり。またかぶせ物によつては、複雑な形をしていたりもします。そんな歯のお手入れをするのに、歯ブラシ一本で大丈夫？そこで歯ブラシでは届かないところのお掃除をするものがちゃんとあるのです。

- ・デンタルフロス
- ・歯間ブラシ
- ・毛束の小さなブラシ

すでに使っているという人もいらつしやると思いますが、興味をもたれた方は遠慮なく聞いてくださいね。

(次号から紹介していく予定です)

ぺぱーみんと

2月の日本の行事と言えば昔は節分でしたが、今はすっかりバレンタインデーがメインになってしまいました

た。最近の流行は義理チョコではなく、友達同士(主に女の子)が交換しあう「友チョコ」だとか▼そんなのあげる人がいない人がするんでしょと思う人もいるかもしれませんが、家族に面と向かって感謝してますと言いにくいようにに友達にも意外と言つてない事つてありますよね。「すぐく助けられてるよ。」とか「元氣が出るよ。」とか。チョコといつしよに、普段言えない感謝の気持ちを伝えられたらいいなと思います▼それにしても、日本人ってこういうネーミング得意ですよ。本命チョコ、義理チョコ、友チョコ、さて来年はどんなチョコが出てくるんでしょう。(そうそうチョコのあとは歯みがきをお忘れなく！)



※同封してありますレセプト(保険診療報酬の明細)のコピーは平成十五年一月にお受けになられたものです。自由診療のみの方には、同封されていません。